

表紙

下記プルダウンメニューより分野及び応募方法を選択してください。

分野	自薦
自薦/他薦	自薦

令和3年度 おおさか気候変動対策賞 応募申請書

令和3年 月 日

大阪府知事 殿

住所：
事業者又は事業所名
代表者：

「おおさか気候変動対策賞」へ

分野名：
活動の名称：

へ応募します。

表紙(自薦の場合)の記入例

①プルダウンメニューから分野を選択してください。どのような取組みがどの分野に該当するかは、別シート「各分野の事例」を参考にしてください。

②プルダウンメニューから自薦を選択してください。

③記入した日付を入力してください。

④取組みを行った事業者又は事業所の住所、事業者又は事業所名及び代表者名を記入してください。

⑤【分野名】セルD5で選択した分野が自動的に入力されます。
【活動の名称について】応募する活動概要を表すタイトルです。
30文字以内程度で端的にご記入ください。

表紙

下記プルダウンメニューより分野及び応募方法を選択してください。

分野	他薦
自薦/他薦	他薦

令和3年度 おおさか気候変動対策賞 応募申請書

令和3年 月 日

大阪府知事 殿

住所：
団体名：
代表者：

「おおさか気候変動対策賞」へ

分野名：
事業者又は事業所名：
活動の名称：

を推薦します。

表紙(他薦の場合)の記入例

①プルダウンメニューから分野を選択してください。どのような取組みがどの分野に該当するかは、別シート「各分野の事例」を参考にしてください。

②プルダウンメニューから他薦を選択してください。

③記入した日付を入力してください。

④取組みを行った事業者又は事業所を推薦する団体の住所、団体名及び代表者名を記入してください。

⑤【分野名】セルD5で選択した分野が自動的に入力されます。【事業者又は事業所名】取組みを行った事業者又は事業所名を記入してください。【活動の名称について】応募する活動概要を表すタイトルです。30文字以内程度で端的にご記入ください。

応募情報シート

1) 申請する取組みの分野名及び活動の名称

部門名	緩和分野or適応分野
活動の名称	〇〇への取組み

2) 取組みを行った事業者又は事業所の情報

事業者名	
事業所名	事業所として応募される場合のみ記入ください
住所	
インターネット情報	ウェブサイトやSNSで取組み等が紹介されているものがあれば、URLをご記入ください。
事業概要	事業者又は事業所の事業概要を記入ください。(取組みの概要ではなく、組織の事業概要を記入ください。)
業種	(クリックして選択してください)
事業者区分	(クリックして選択してください)
資本金	
従業員数	

3) 当応募申請の内容に対するお問い合わせ先

担当者氏名		役職名	
部署名			
TEL		FAX	
e-mail			

4) 応募要件の確認
下記内容を確認後、チェックを入れてください。

チェック	応募要件
<input type="checkbox"/>	大阪府内に事業所があります。
<input type="checkbox"/>	大阪府内の主な事業所の所在地
<input type="checkbox"/>	本応募内容と同一の取組みによるおおさか環境賞の表彰は受けていません。
<input type="checkbox"/>	その他、法律や大阪府条例に基づく改善勧告、改善命令、罰則等は受けていません。

5) 推薦(他薦)者情報
推薦(他薦)の場合のみ記入してください。

推薦(他薦)者名	推薦(他薦)者連絡先	TEL:	
		E-mail:	
		所属:	
		担当者名:	
推薦(他薦)理由			

応募情報シートの記入例

表紙と同様に記入ください。

事業所として応募される場合においても、事業者の情報を記載してください。
事業者区分は別シート「(参考)中小企業について」を参考に選んでください。

応募書類に記載されている内容について、不明点や確認事項があった場合に、事務局から問い合わせることがありますので、申請内容について把握している方のご連絡先をご記入ください。

応募要件の確認後、プルダウンメニューよりチェックを入れてください。

推薦(他薦)の場合のみ記入してください。
(自薦の場合は記入不要です。)

取組内容説明書の記入例

取組内容説明書

6) 過去の受賞歴

当申請の取組みについて、現在までに表彰されたことがある場合は、表彰主体、内容、時期等をご記入ください。

(注意) 同一の取組みにより既に「おおさか環境賞」の表彰を受けている事業者等は応募できません。

7) 当申請の取組みにおける目的、ビジョン、内容について

当申請の取組みにおける目的、ビジョン、内容について記入すること。

8) 表彰の対象となる応募活動の気候変動対策としての貢献度(文字数目安: 500字以内)

【緩和分野】

従来機器比〇%使用電力削減、CO₂を年間△ト削減など対策技術の先進的な導入によって、温室効果ガス排出量又は人工排熱をどのくらい削減できたかを具体的に記載すること。

【適応分野】

作業現場における熱ストレスの低減、事業所の水害対策の実施、気候変動リスクの被害額〇円低減など、適応技術や企業戦略の先進的な導入によって、気候変動によるリスクをどのくらい削減できたかを具体的に記載すること。

201

9) 表彰の対象となる応募活動により期待される波及効果(文字数目安: 500字以内)

【緩和分野】

脱炭素社会への新たなライフスタイル変革へどのような波及効果が期待できるか具体的に記載すること。

【適応分野】

社会全体の気候変動適応の取り組みへどのような波及効果が期待できるか具体的に記載すること。

108

10) 表彰の対象となる応募活動における刷新的要素(文字数目安:500字以内)

【緩和分野、適応分野共通】

これまでの取組みと比較して、技術的新規性(優位性)、経済的優位性、独創性があるなど、持続可能な未来に向けた刷新的な取組を行っていることを具体的に記載すること。

94

11) 表彰の対象となる応募活動の今後の計画、持続的な展開の展望(文字数目安:500字以内)

【緩和分野、適応分野共通】

一過性のイベントや活動ではなく、持続可能な仕組みを確立しており、活動の持続的な発展が期待できることを具体的に記載すること。

76

12) 参考資料の添付 ※A4サイズPDFで20ページ以内に収めてください。

あり なし

事業者等の概要を示す資料(パンフレット、ホームページ等の既存資料)や活動内容に関する参考資料(報告書、新聞・雑誌記事など)があれば、応募申請書と合わせて提出してください。ただし、A4サイズで20ページまでとし、PDFで送付してください。

写真番号	写真貼り付けセル	説明(必須)
1	当申請の取組みに関する写真を貼り付けてください。	当申請の取組みに関する写真の説明を記載してください。
2		
3		
4		
5		

緩和策分野及び適応分野における表彰の対象となる取組み例

どのような取組みがどの分野に該当するのかは以下を参考にしてください。

【緩和分野】

<該当する取組み>

- ・コージェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、ESG 投資、脱炭素経営等、国内外の温室効果ガスの排出を低減する技術や製品、企業戦略の大規模導入・先導的導入及び積極的な活用、地球温暖化防止に資するライフスタイルや、地域における効果的な節電等に関する積極的な実践。
- ・電気の需要平準化の観点からエネルギー使用量の増加する夏期(7月～9月)及び冬期(12月～翌年3月)に取り組みられた対策。

<具体的な取組み例>

令和2年度おおさかストップ温暖化受賞者の主な取組み事例です。

小野薬品工業株式会社 水無瀬研究所<大阪府知事賞>

- ① 再生可能エネルギー由来の電力購入
- ② 低風量型(プッシュ・プル型)超高速VAV 式局所排気装置導入
- ③ インバーター式モジュールチラーの導入
- ④ 全社的なエネルギーマネジメント体制 詳細はこちら

イオンモール株式会社<優秀賞>

- ① CO2フリー電力の活用
- ② EV充電器増設
- ③ 設備機器の導入
- ④ 省エネルギー・CO2削減推進体制

医療法人仁和会和田病院<優秀賞>

- ① 省エネ診断の活用
- ② 冷暖房のパッケージエアコンへの更新
- ③ 温水ボイラーの燃料転換
- ④ 低炭素型電気事業者への転換
- ⑤ LED 照明の導入

タカラベルモント株式会社TB-SQUARE<優秀賞>

- ① 集中管理コントローラーによる空調機の運用改善
 - ② CO2 センサーと連動した換気運転の管理
 - ③ 空調機の省エネチューニング
 - ④ 省エネルギー・CO2 削減推進体制
- 詳しくは府HP「令和2年度 おおさかストップ温暖化賞」をご覧ください。

【適応分野】

<該当する取組み>

- ・農林水産業、自然災害、水資源・水環境、自然生態系、健康等の各分野で、気候変動の影響による国内外の被害を回避又は低減する優れた適応策の先進的導入及び積極的な実践、企業や地域等の気候変動への強靭性や持続可能性の向上を目的とした気候変動リスク分析及び適応策の導入における積極的かつ先進的な取組みに関する功績。

<具体的な取組み例>

事業者による適応に関する実際に取組み事例です。

大和ハウス工業株式会社

- ・環境センサーによる熱中症リスクへの対策と未然防止
- 環境センサー(※)を約1400か所以上の建設現場で設置
- ※基準を超える温湿度や風速を検知すると、表示灯と音声で作業員に警告をすると同時に、管理者へメールで通知する仕組み

株式会社トヨックス

- ・BCP(事業継続計画)における水害対策への取組み
 - ・雨量計による雨量監視
 - ・商品・倉庫の保護(高さ70cmの防水板の設置)
 - ・実地訓練(排水ポンプの取り扱いや緊急呼び出し訓練)
- 出展:「気候変動適応情報プラットフォームポータルサイト」

中小企業について

中小企業基本法第2条で既定される以下の法人または個人事業者

業種	資本金・従業員規模
製造業、建設業、運輸業、その他の業種	資本金の額又は出資の総額が3億円以下又は 常時使用する従業員の数が300人以下
卸 売 業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下又は 常時使用する従業員の数が100人以下
小 売 業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下又は 常時使用する従業員の数が50人以下
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下又は 常時使用する従業員の数が100人以下

業種コード

1農業
2林業
3漁業(水産養殖業を除く)
4水産養殖業
5鉱業, 採石業, 砂利採取業
6総合工事業
7職別工事業(設備工事業を除く)
8設備工事業
9食料品製造業
10飲料・たばこ・飼料製造業
11繊維工業
12木材・木製品製造業(家具を除く)
13家具・装備品製造業
14パルプ・紙・紙加工品製造業
15印刷・同関連業
16化学工業
17石油製品・石炭製品製造業
18プラスチック製品製造業(別掲を除く)
19ゴム製品製造業
20なめし革・同製品・毛皮製造業
21窯業・土石製品製造業
22鉄鋼業
23非鉄金属製造業
24金属製品製造業
25はん用機械器具製造業
26生産用機械器具製造業
27業務用機械器具製造業
28電子部品・デバイス・電子回路製造業
29電気機械器具製造業
30情報通信機械器具製造業
31輸送用機械器具製造業
32その他の製造業
33電気業
34ガス業
35熱供給業
36水道業
37通信業
38放送業
39情報サービス業
40インターネット附随サービス業
41映像・音声・文字情報制作業
42鉄道業
43道路旅客運送業
44道路貨物運送業
45水運業
46航空運輸業
47倉庫業
48運輸に附帯するサービス業
49郵便業(信書便事業を含む)
50各種商品卸売業
51繊維・衣服等卸売業
52飲食料品卸売業
53建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業
54機械器具卸売業
55その他の卸売業

56各種商品小売業
57織物・衣服・身の回り品小売業
58飲食料品小売業
59機械器具小売業
60その他の小売業
61無店舗小売業
62銀行業
63協同組織金融業
64貸金業, クレジットカード業等非預金信用機関
65金融商品取引業, 商品先物取引業
66補助的金融業等
67保険業(保険媒介代理業, 保険サービス業を含む)
68不動産取引業
69不動産賃貸業・管理業
70物品賃貸業
71学術・開発研究機関
72専門サービス業(他に分類されないもの)
73広告業
74技術サービス業(他に分類されないもの)
75宿泊業
76飲食店
77持ち帰り・配達飲食サービス業
78洗濯・理容・美容・浴場業
79その他の生活関連サービス業
80娯楽業
81学校教育
82その他の教育, 学習支援業
83医療業
84保健衛生
85社会保険・社会福祉・介護事業
86郵便局
87協同組合(他に分類されないもの)
88廃棄物処理業
89自動車整備業
90機械等修理業(別掲を除く)
91職業紹介・労働者派遣業
92その他の事業サービス業
93政治・経済・文化団体
94宗教
95その他のサービス業
96外国公務
97国家公務
98地方公務
99分類不能の産業